

# Pepperを活用した 登校日数を増やす 取り組み

大阪府立和泉支援学校  
高等部 伊美 聰

# 発表の流れ

- 対象生徒について
- 取り組みの目的・内容
- 活動の中で感じたこと
- 今後の見通し

# 対象生徒について

## ◆学習

- ・足し算、引き算、ひらがな、カタカナは読み書きできる。
- ・パソコンはかな入力で行なっている

## ◆興味・関心

- ・アニメや動画閲覧が好き
- ・iPodへ音楽を入れたり、スピーカの設定など、一人でできるパソコン操作が多い

## ◆行動

- ・文字を箇条書きにしたり、シンボルで示すと、落ち着いて取り組むことができる

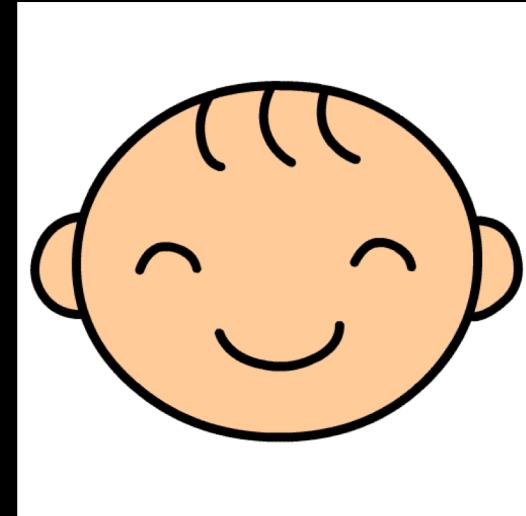
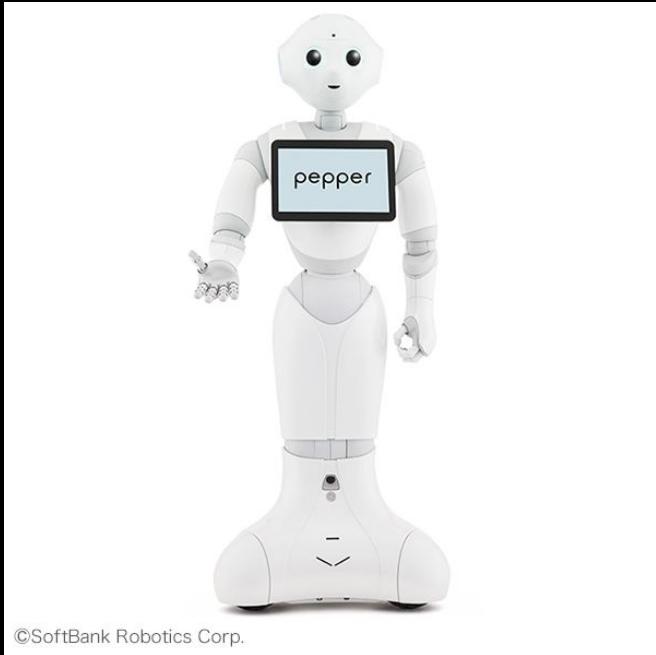
# 対象生徒について

## ◆苦手なこと

- ・ 口頭でのやり取り
- ・ 一部の友だちと関わりたい思いは強いが、思いを言葉にすること  
…思いが届かない時は、その場から走って逃げたり、友だちへのいたずらなどがみられた

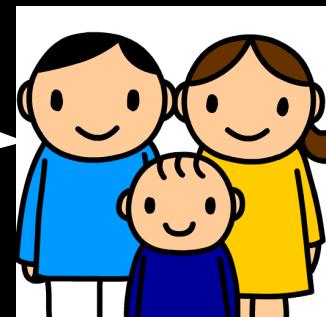
→登校が中学部3年より月2回程度に減少

# 対象生徒とPepperとの初対面



Pepperとの対面時

「こんな笑顔、最近見たことなかったです。興味をもっていると思います！」



保護者

# 取り組みの目的と内容



## ◆取り組みの目的

- ・継続的に落ち着いて学校に登校し、授業に出席する。
- ・落ち着いて他者とのやり取りを行う。

## ◆取り組み内容

- (1) Pepperからのメッセージを見て、登校数を増やす
- (2) 登校すると、Pepperとのかかわりを増やす
- (3) 登校が続くと、Pepperを介した友だちとのやり取りを重ねる

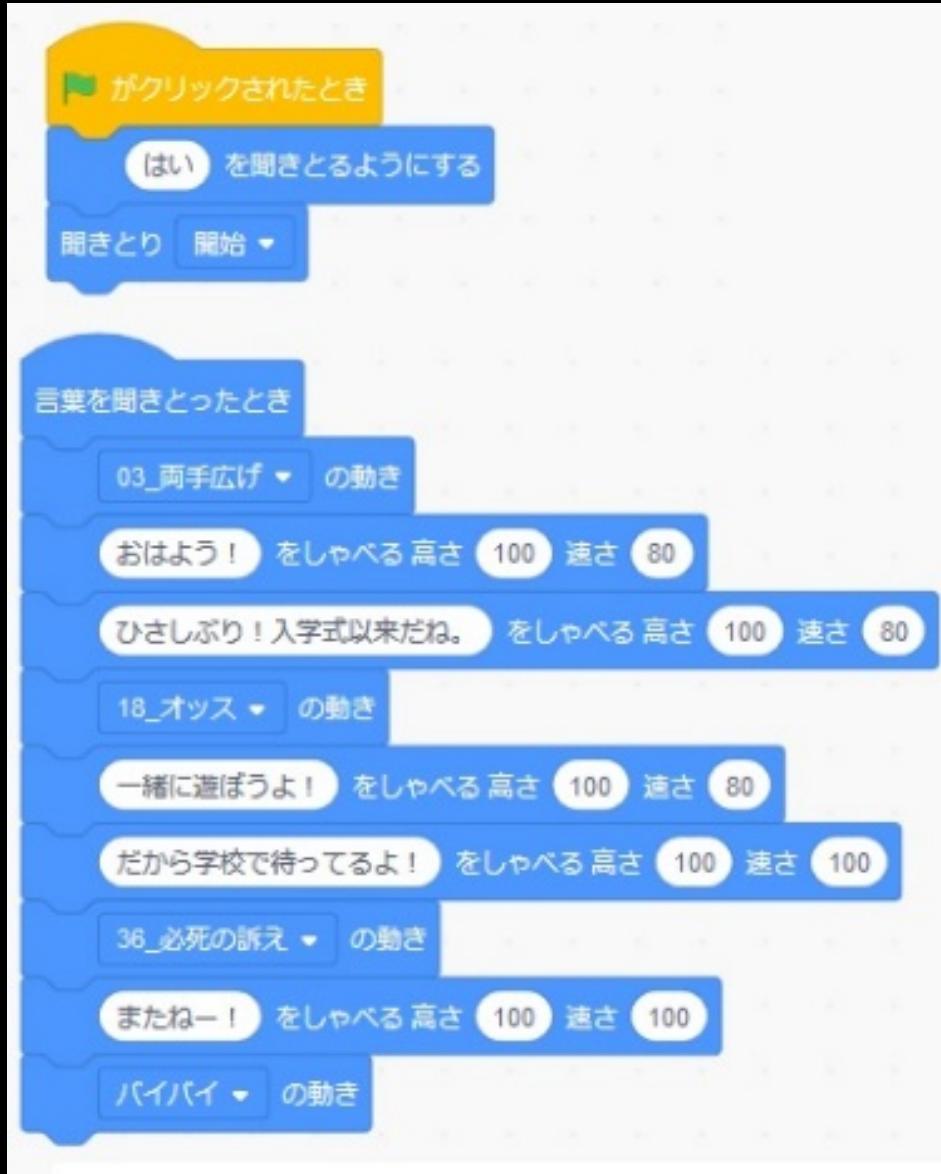


# (1) Pepperからのメッセージを見て、登校数を増やす



- ・登校をよびかける内容のプログラムを実施者が“RoboBlocks”で作成
- ・それをPepperに実装させ、動いている様子をビデオに録画。  
→そのビデオを対象生徒に見てもらう取り組みからスタート。

# 実施者が作成したメッセージの プログラム



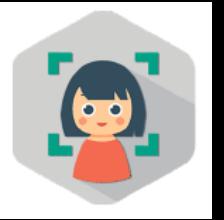
# (1) Pepperからのメッセージを見て、登校数を増やす

- ・メッセージ動画閲覧時
- ・Pepperがしゃべっているのを見て、にやーと笑ってみていた。

保護者からの  
コメント

→保護者に「次の日はPepperに会う」と伝え、実際に登校した。

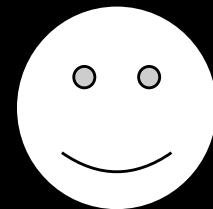
## (2) Pepperとのかかわり を増やす



- Pepper内にある「家族登録」に対象生徒の情報を設定

→好きなPepperに名前を呼んでもらい、  
Pepperとのかかわりを重ねる取り組みを  
スタート。

# 「家族登録」時の対象生徒の様子



笑っている顔

キリッとした顔

時には笑顔で、時にはキリッとした表情を見せながら登録を行う  
→登録時とても楽しんでいる様子であった

# 「家族登録」後の様子

- Pepperから名前を呼ばれるとうれしそうな笑顔を見せていた
- 対象生徒の意に沿わない発言があっても「Pepper 大丈夫?」とやさしい言葉かけをしてPepperからの会話を待っていた  
→落ち着いてPepperとのやりとりを行うことができた

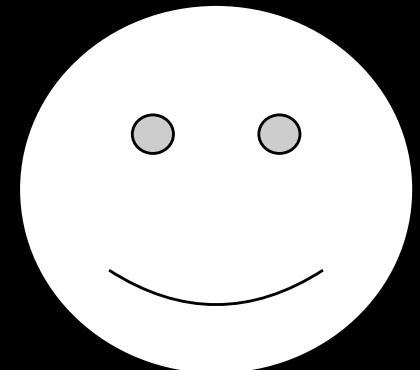
# 取り組み（1）（2）を通して

- ・時々休みがちになることもあったが、週に1～2日程度に増えてきた。
- ・本人から運動会に参加したいと申し出があり、運動会練習、運動会本番に参加できた
- ・昨年度一度も入れなかつたプール学習にも参加できた

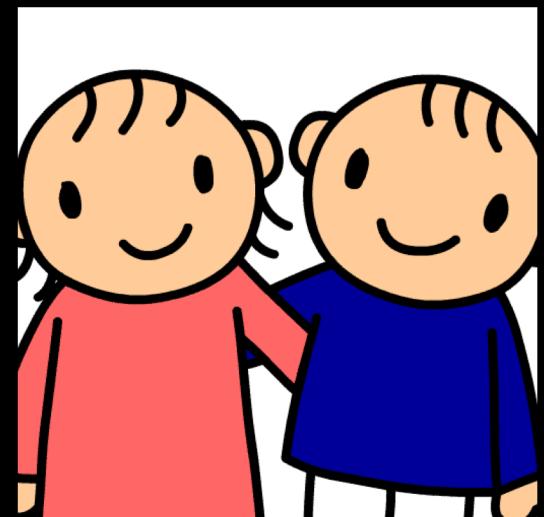
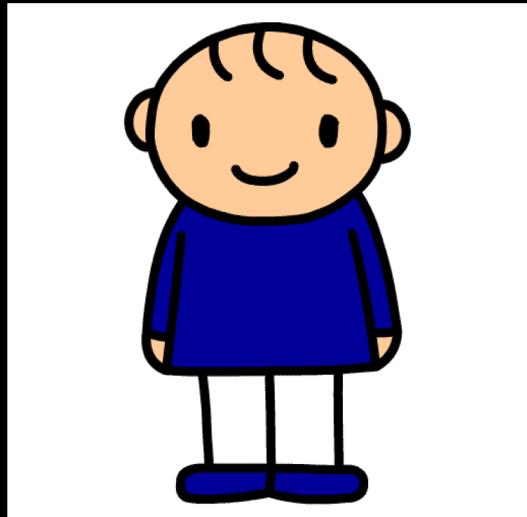
### (3) Pepperを介した友だちとのやり取りを重ねる



- ・対象生徒自らが“Pepper Maker”を使って友だちへのメッセージを制作
- ・メッセージを友だちに見せて、感想をビデオメッセージにする



### (3) Pepperを介した友だちとのやり取りを重ねる

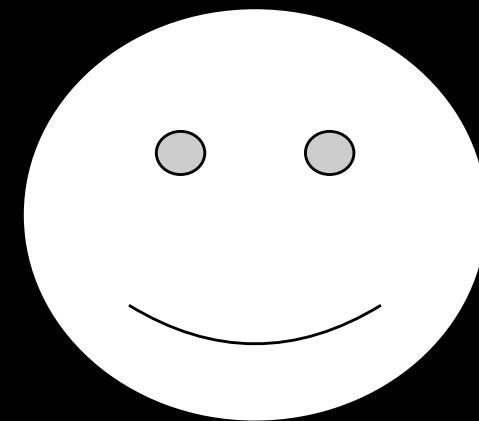
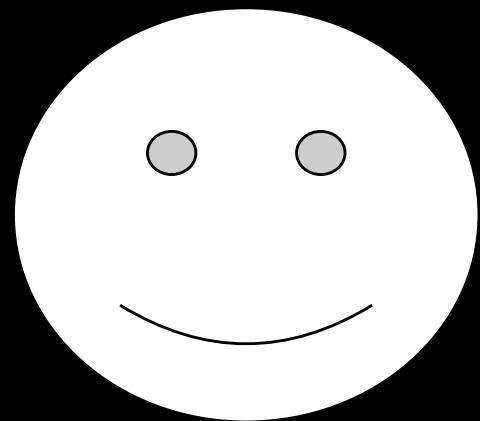


対象生徒

友だち

対象生徒は、友だちへのメッセージを  
PepperMakerでプログラミングする

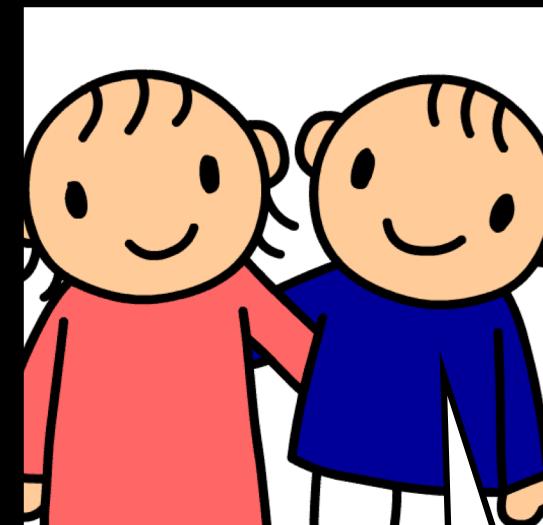
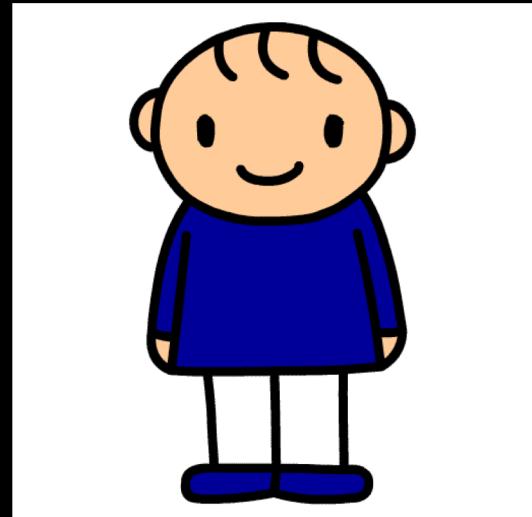
# メッセージの作成の様子



# 初めて作ったメッセージと動いて いるPepper



### (3) Pepperを介した友だちとのやり取りを重ねる



対象生徒

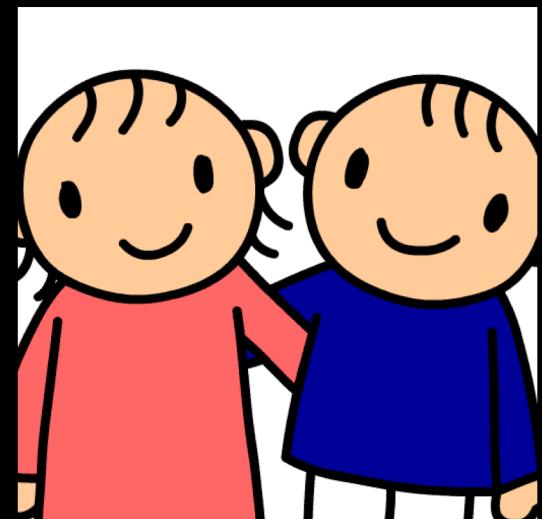
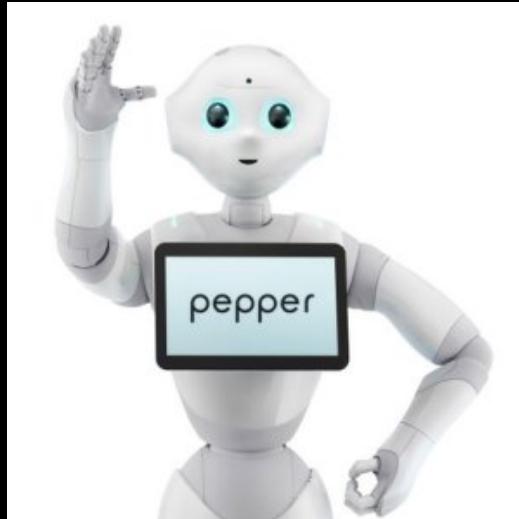
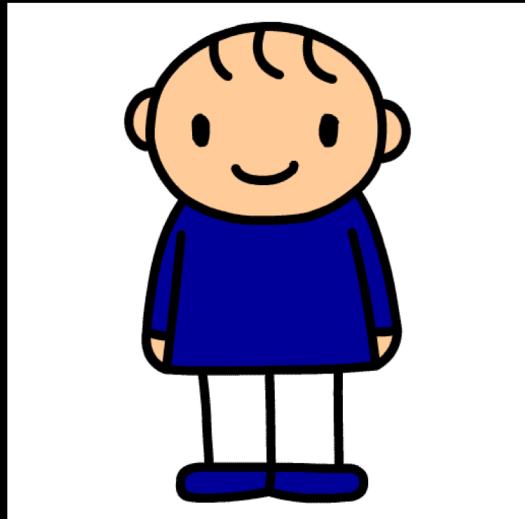
友だち

友だちは、Pepperの動きを見て、その感想をiPadで録画し、対象生徒が閲覧

すごいやん  
また学校きて  
やー

### (3) Pepperを介した友だちとのやり取りを重ねる

保護者からの  
コメント

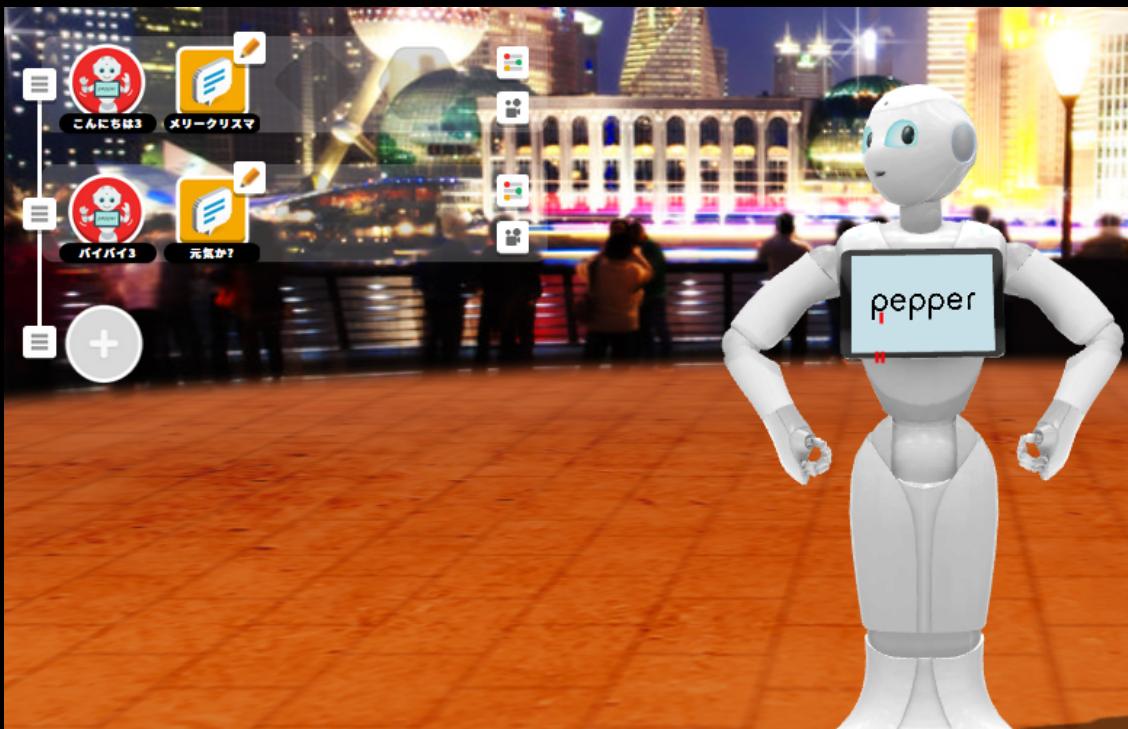


対象生徒

友だち

対象生徒は、新たなメッセージのプログラミングを作った

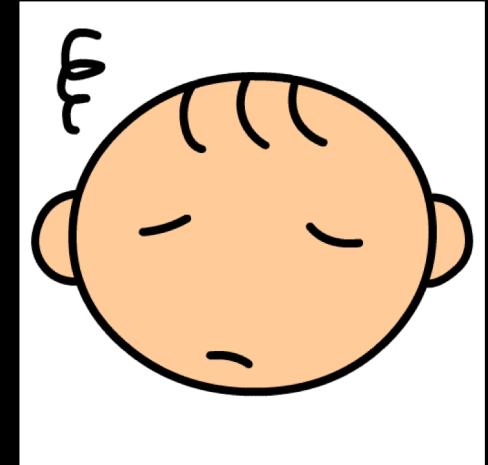
# 2回めに作ったメッセージと動いているPepper



# 活動の中で感じたこと

◆中学部時代～活動当初

- 思いが届かない時は、走って逃げていた



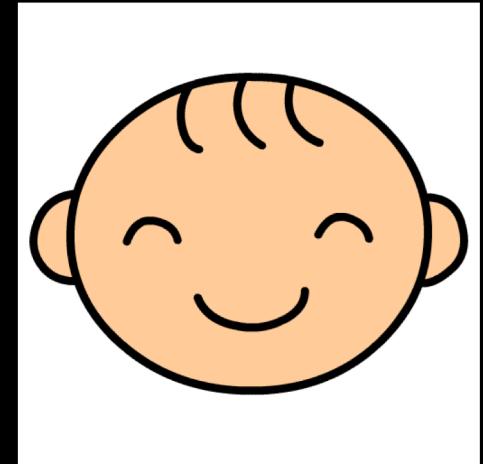
- また、友だちへのいたずらがみられた

→しんどかった日々をすごしていた

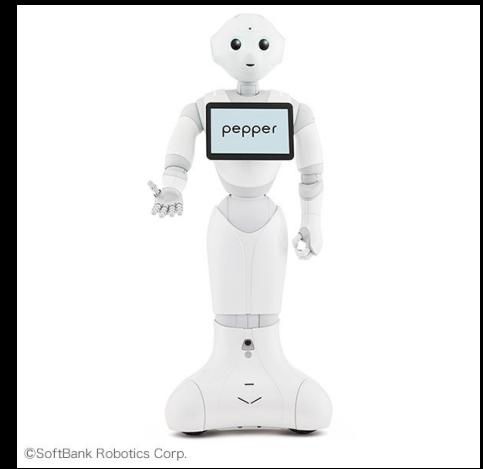
# 活動の中で感じたこと

## ◆Pepperとの出会い

- ・自分の好きな物に会えて  
うれしかった



- ・家でもPepperの話をする  
ようになってきた



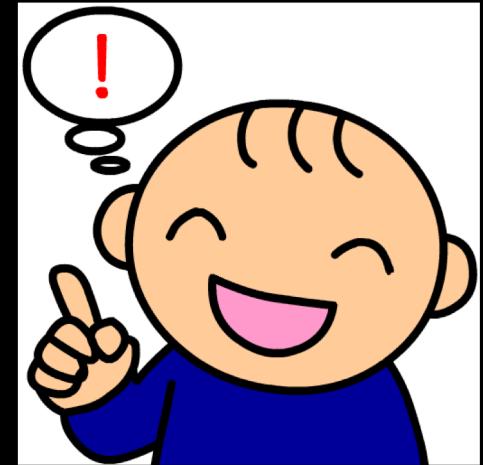
- ・学校に来れない日も常に  
気についていた

→登校のモチベーションにつながった

# 活動の中で感じたこと

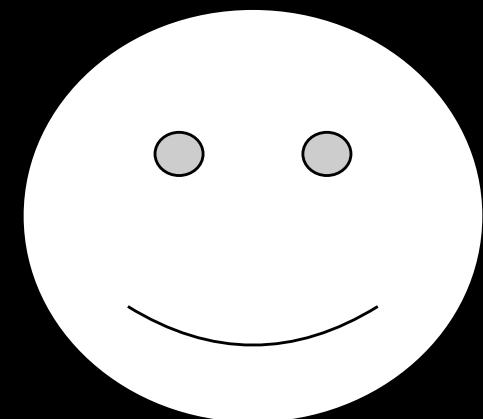
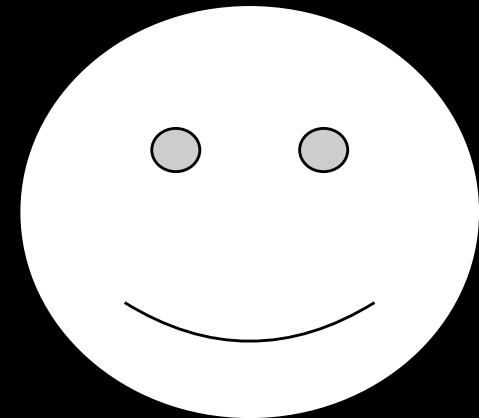
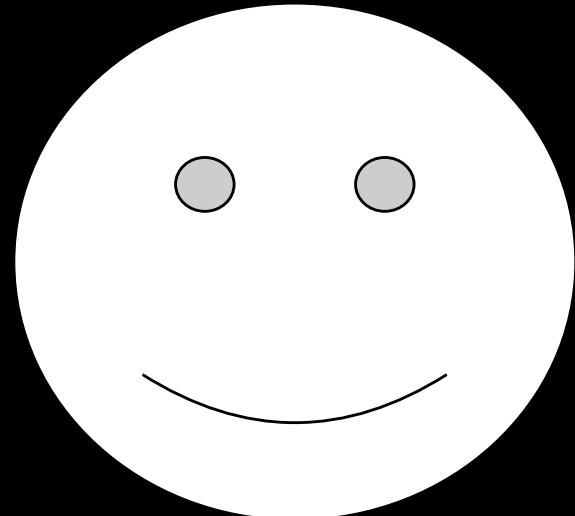
## ◆現在

- 友だちに思いを届ける一つの手段
- 友だちに思いが届いたときとてもうれしかった
- 思いをまた届けたい気持ちが生まれる  
→ 現在では落ち着いて登校することができてきた



©SoftBank Robotics Corp.

今では



行事や学習にも興味を  
持つようになってきた。

# 今後の見通し

- ・「（3）Pepperを介した友だちとのやり取りを重ねる」をさらに進める
- ・あいさつ運動等で対象生徒の作ったプログラムを実装したPepperの登場場面を増やす

→より登校日数を増やすことができる  
よう取り組んでいきたい